

特別活動研究会 会報1号

令和5年度 会員数145名!

KAWASAKI 特活



学級活動 (1) (2) (3) 児童会活動 クラブ活動 学校行事

川崎市立小学校 特別活動研究会

検索

ごあいさつ

特別活動研究会 会長 小堤紀子

木々の緑が鮮やかな、風薫る爽やかな季節となりました。

今年度特別活動研究会会員は145名の会員数です。新年度がスタートしましたが、皆さま方は新しい学校や学年にはもう慣れましたでしょうか。子ども達はどうですか？

学校の教育活動ではコロナ禍のもと、さまざまな取組が定着したことと思います。今まで例年通りで行ってきた行事も新たな視点で計画すると、また違った成果が表れてくることを実感したのではないのでしょうか。本研究会の総会も3年ぶりにここセンターにおいて参集型で行うことができる運びとなりました。

特別活動では、ここ数年間はまさしく「願わないことは叶わない」「なすことによって学ぶ」特別活動の精神を大いに発揮して経験値を上げてまいりました。今までやったことがないからできないと消極的にとられることから解放され、新しい活動へと変わってきたものも多くあるのではないのでしょうか。かわさきGIGAスクール構想も3年目に入り、GIGA端末の活用も市内の公立学校では日常の姿として定着してまいりました。

予測がむずかしいこれからの時代には、今まで以上にコミュニケーション力を育てることが肝要となります。子どもたちがたくましく生きるために特別活動の担う役割は大きいと考えます。各学校での特別活動の推進を図っていけるよう、特別活動研究会としても意欲的に研究を進めてまいります。今年度もよろしくお祈りいたします。

特別活動研究会 会員の皆様

本誌「KAWASAKI 特活」では、本研究会の様々な活動を発信しております。教育課程研究会や小教研授業研究会の授業の様子、総会・研修会などの様子につきましても、協議で話題になったことや講師の先生から指導していただいた内容を掲載していきます。今年度は、特別活動研究会クラスルームに、随時掲載させていただきます。会員の皆様には、本誌をプリントアウトしていただき、各校で教職員向けの掲示板などで紹介して頂けたら幸いです。

本誌タイトル右側のQRコードを読み取っていただきますと、特別活動研究会のホームページにジャンプします。過去の授業実践の指導案、学級会グッズ、会報などのデータベースとなっております。必見です！



川崎市特別活動研究会のキャラクター

とっかつどんです!

どうぞよろしくおねがいします!

川崎市立小学校教育研究会 特別活動研究会 総会・研修会
令和5年5月10日(水) 川崎市総合教育センターにて

研修会「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動」

～多様な他者と協働してよりよく生きる力を育む～

文部科学省初等中等教育局 視学官

安部 恭子 先生

・次期教育振興基本計画(答申より)

将来の予測困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となる。

求められている力は、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考、表現力、チームワーク

・子どもたちが多様な他者と協働し、自分のよさや可能性を生かしてよりよく生きていくことができるようにする。

→まさに今!特別活動が求められている!

☆役割意識を高める

☆将来に向け、「自分らしい生き方の実現」

☆学校行事の充実

学級活動(1)

キーワード「自分もよく、みんなもよい」ことを決める

・自発的・自治的な活動 教師の適切な指導の下 集団としてよりよく合意形成を図り、協力して実践する。

・安易な多数決で結論を出さない。

・多数意見でまとめていくことが基本だが、少数意見も尊重し、生かす工夫はないか考える。

・それぞれの意見を比べ合いながら、「折り合い」をつけて合意形成を図る。

・学級会司会グループは輪番制で取り組む。一年間に一度は司会グループが経験できるように配慮を。

・終末の「教師の話」のポイント 話し合い活動に対する指導と評価、回と比べてよかったこと、次回に向けての課題、司会グループへのねぎらいを中心に話をして次の学級会につなげる。

・実践でも、提案理由に立ち返り、めあてをもって活動できるようにする。

・板書の工夫 フレームを活用した焦点化も有効。

思考を整理するための板書にする。分類整理は、先生だけでなく子どもたちと共に行う。

・集会のふりかえり 良かったところ 改善するところ わかりやすくキーワードだけ掲示するなどの工夫を。

・係活動は、学級生活の充実・向上をめざすもの。当番活動と係活動の違いを意識して指導をする。

学級活動(2)(3)

・教師が「共通の問題」として、課題を設定する。一人ひとりが「意思決定」をする。

・話し合い活動の質を高める。よりよい合意形成や適切な意思決定になるように、指導方法の工夫・改善を図る。

・(1)との違いを意識して指導する。

・年間指導計画に基づいて指導する。一人ひとりが意思決定して実践する。

たくさんのご参加を
お待ちしております!

第1回 教育課程研究会の予定

6月7日(水) 戸手小学校(南部)

「川崎駅」よりバス10分商業高校前下車 「矢向駅」より徒歩15分

6月14日(水) 白幡台小学校

東急田園都市線「宮前平駅」よりバス 溝の口行 JR南武線「武蔵溝ノ口駅」よりバス 宮前平駅行

JR南武線「登戸駅」よりバス 菅生車庫行